（様式１）

校　種	小　・　(中) どちらかに○	学校番号	２２	学校名	宇都宮市立上河内中学校

令和８年度　学校経営計画

１　教育目標

（１）基本目標

人間尊重の理念を基調とし，豊かな情操を備え，社会の変化に向き合いながら，常に目標を持ち，自ら学ぶ意欲を持ち続け，他と協働して粘り強く物事に取り組む心身ともに健康な生徒を育成する。

（２）具体目標（具体的な児童生徒像など）

校是　よく学びよく鍛えよ

☆　めざす生徒像	☆　めざす教師像	☆　めざす学校像
・学び鍛える生徒	・愛と情熱にあふれる教師	・楽しく学びあえる学校
・自他を尊ぶ生徒	・研きあう教師	・協に伸びる学校
・気力あふれる生徒	・実践する教師	・信頼される学校

２　学校経営の理念

（１）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を進めながら，生徒が生涯にわたって成長し続けるための基盤となる，知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に努める。

（２）全教職員が，強い使命感と情熱をもって学校経営に参画し，学校教育目標の達成に向けて取り組むことで，生徒・保護者・地域の信頼や期待に応え，「地域とともにある学校づくり」に努める。

３　学校経営の方針

「一人一人の生徒，教職員はかけがえのない存在である」との考えに基づき，学校経営を推進する。

（１）**生徒を主語にした学校**

生徒が主体となり，ルールづくりや学校生活の改善，行事の創造に取り組む活動や，生徒が興味・関心をもって探究する授業を通して，社会の変化が激しく，正解のない時代において，「よりよいものを創り出したり，導き出したりするためにはどうしたらよいか」を主体的に考え，多様な他者と協働しながら課題を解決しようとする力の育成を目指す。

（２）**信頼される学校**

全ての生徒が，安心して安全に学校生活を送ることができる教育環境づくりと開かれた学校づくりの推進を通し，「この学校なら安心して子供を預けられる」「この学校と一緒に子供を育てたい」と思われる学校を目指す。

（３）**地域とともにある学校・特色ある学校**

保護者や地域との円滑なコミュニケーションと連携を基盤とし，地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに，生徒の地域行事への参加等を推進することにより，地域とのつながりや故郷「上河内」を大切にする生徒を地域とともに育成する。

（４）**教職員のウェルビーイングの向上**

「先生が笑顔でなければ，生徒を笑顔にすることはできない」という視点に立ち，業務の効率化や業務量の管理，勤務時間の適正化，健康確保措置，部活動の地域展開等を推進することにより，生徒と向き合う時間や自らの授業を磨く時間の確保に努めるとともに，「働きやすい職場」「働きがいのある職場」の実現を目指す。

［上河内地域学校園教育ビジョン］
かしこく，たくましいゆずっ子の育成
～基本を身に付け，人とつながり，夢に向かって生きる子どもを育てよう～

４　教育課程編成の方針

（１）基本方針

教育基本法・学校教育法等の法令及び学習指導要領に基づき，上河内特有の地域性や生徒，学校の実態等を考慮し，生徒の心身の発達段階に応じた編成を行う。

（２）留意点

①学校の教育目標や「めざす生徒像」，各教科の目標・ねらいとの整合性を図る。

②学習指導要領で示されている各教科等の授業時数を確保する。

③「総合的な学習の時間」において，教科等横断的な視点に立った追究活動の推進や発表をめざした学習を進める。

④学校評価との関連付けを図り，ＰＤＣＡサイクルを機能させたカリキュラムマネジメントを行う。

⑤　地域協議会等との連携を図るとともに「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。

５　今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

～　授業・行事・生徒会を核とした生徒が輝く学校づくり　～

（１）学校運営

①生徒を主語にした学校

・生徒一人一人のよさを認め，励まし，伸ばす教育の推進

・生徒が主体となり，ルールづくりや学校生活の改善，行事の創造に取り組む活動の充実

・生徒が興味・関心をもって探究する授業の実現

②信頼される学校

・安心・安全な教育環境の整備及び安全に関する指導の充実と安全体制の確保

・生徒一人一人に寄り添った支援の充実

・教職員の服務規律の確保及びコンプライアンス意識の向上

③地域とともにある学校・特色ある学校

・地域の伝統行事への積極的な参加と報告会等の実施

・地域の教育力を活用した体験活動の充実

・各種たよりの発行と地域や家庭への配付，学校ＨＰの活用等による積極的な情報発信

④教職員のウェルビーイングの向上

・業務の効率化や業務量の管理，勤務時間の適正化，健康確保措置の実施，時間外在校等時間の削減，リフレッシュデーの設定

【目標：時間外在校等時間が１か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す（R９年度末】

・部活動の地域展開等の推進

・「働きやすい職場」「働きがいのある職場」の実現

（２）学習指導

①「わかった」「できた」を実感できる授業の展開

②生徒が興味・関心をもって探究する授業の実現

③根拠をもって自分の考えや意見を表現する活動の充実

④授業中の学習態度や家庭学習の習慣化に向けた指導の充実

⑤特別支援教育の視点を取り入れた授業の充実

⑥ＯＪＴ・研修等を通した教師の授業力向上に向けた取組の継続

（３）生徒指導

①生徒一人一人に寄り添った支援の充実

○②自己肯定感・自己有用感の涵養と，自ら考え，正しく判断し，責任をもって実行できる自己指導能力の育成

③特別な配慮や支援が必要な生徒への対応及び不登校対策の充実

④いじめを生まない指導・支援の充実及び情報モラル教育の強化

⑤豊かな心や創造性の涵養

（４）健康（体力・保健・食・安全）

○①地域学校園小中一貫カリキュラムを踏まえた，進んで運動に取り組む環境づくりと体力

向上の推進及び運動生活の習慣化
○②地域学校園で連携した保健指導の推進
○③給食や食農体験等の充実による地域の特色を生かした食育指導の推進
④安心・安全な教育環境の整備，安全教育の充実による自身の安全を守るための判断力や実践力の育成及び安全体制の確保

６　学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※　様式２～４参照

７　特色ある学校づくり等に関する取組

（１）育てたい資質・能力
①自らの可能性を信じ，自己実現に向かって粘り強く取り組む「たくましさ」
②豊かな感受性を備え，他を思いやる心
③主体的に活動に取り組む気力とそれを支える体力
④地域の一員としての自覚と地域への関心・愛情を持ち，地域に貢献しようとする意欲
（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
①キャリア教育の推進
・１学年「働く人に学ぶ」２学年「校外学習」等
②交流活動の推進
・小中合同あいさつ運動　等
◇③校内清掃活動や地域清掃活動の実施
・「上河内ピカピカ大作戦」「羽黒山ボランティア清掃」等
◇④地域の教育力を活用した体験活動の充実
・地域ボランティアによる「読み聞かせ・ブックトーク」
・１学年食農体験「さつまいもの苗植え・栽培・収穫」等
⑤地域に愛着をもち，地域とのつながりを大切にする心の醸成
・「羽黒音頭」の活用　「地域未来塾」の実施　等

８　本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）
①基本的考え
上河内地域の伝統や歴史を重んじ，他地域とは異なる特性を尊重しながら，地域を愛し，地域から愛され，将来，地域を担っていける生徒の育成を目指す。
②主な取組
ア　「関白獅子舞」や「梵天祭り」などの地域の伝統行事への積極的な参加と報告会等の実施
イ　「ふれあい祭り」・「福祉イベント」・「地区体育祭」などの地域行事への積極的な参加とボランティアとしての協力
ウ　各種たよりの発行と地域や家庭への配付，学校ホームページの活用等による積極的な情報発信
エ　地域指導者と連携した部活動地域展開の推進
（２）小中一貫教育・地域学校園
①基本的考え
小学校における小規模（単学級や２学級）な集団での生活経験のため，人間関係を構築したり，多様な集団の中で表現したりする力が不足している生徒が見られる。小中連携・小小連携を通して，児童生徒の学力，体力，人間力の向上を図る。
また，各種学習状況調査等の現状の改善のために，学力向上に向けた取組を強化する。
②主な取組
ア　小中一貫カリキュラム（平成 30 年度作成）の着実な実施と改善点の検討
イ　地域学校園としての「学習ルールの徹底」による「学びに向かう集団づくり」の推進

ウ　学校行事等における小中学生の交流活動の推進

（３）不登校対策

①基本的考え

日ごろから，「居心地のよい学級・学年・学校」，「居がいのある学級・学年・学校」づくりをめざし，学級等の人間関係の把握に努め，交友関係に起因するトラブルを未然に防止する。

また，生徒の不安や悩みの解消のため，教育相談機会を設定したり，多角的な支援を充実させたりする。（特別支援教育の視点を重視する）

②主な取組

ア　生徒が自己有用感や自己肯定感を実感できるような「認め励ます指導・支援」の推進

イ　「Q-U検査」や学校独自の「生活アンケート」の実施と結果の有効活用

ウ　教育相談の充実と情報共有の推進

エ　スクールカウンセラーやメンタルサポーター，関係機関との連携と活用

（４）ＧＩＧＡスクール構想

①基本的な考え

グローバル・高度情報化社会に適応するために，情報活用能力の育成を目指し，学習の基礎となる資質・能力を高めるための手段として，授業における効果的なＩＣＴの活用に努める。

②主な取組

ア　日常文具の１つとしての１人１台端末の効果的な活用

イ　授業等における学習ソフトの利用

ウ　デジタルシティズンシップ教育の推進

（５）宇都宮学

①基本的な考え

グローバル社会に主体的に向き合い，よりよい社会を創る担い手となるとともに，異なる文化を持つ人々とともにたくましく未来を生き抜く宮っ子を育むため，生徒が郷土宇都宮の歴史や伝統文化，産業などについて理解し，郷土への愛情と誇りを持てるようにする。

②主な取組

ア　宇都宮のよさや歴史について学び，親しむことができる機会の設定

イ　宇都宮の特色や魅力を理解し，郷土の未来について考える機会の設定

ウ　宮っ子の誇りを持ち，未来を切り拓いていこうとする実践的態度を養う機会の設定